

# みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：いちご団地に実りの季節！
- p2 みやぎ“復興人”：特定非営利活動法人とめタウンネット、応援職員紹介
- p3 月刊ココロプレス
- p4 県からのお知らせ、復興イベント情報



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1お名前、2お住まいの都道府県、3ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して [fukusuim@pref.miyagi.jp](mailto:fukusuim@pref.miyagi.jp) まで送信願います！



## いちご団地に実りの季節！

～東北一のいちごの産地復興に向けて～

### いちご団地における新しい栽培の取り組み

亘理、山元地域（宮城県南東沿岸）のいちご団地では、震災後3回目の収穫の季節を迎えています。

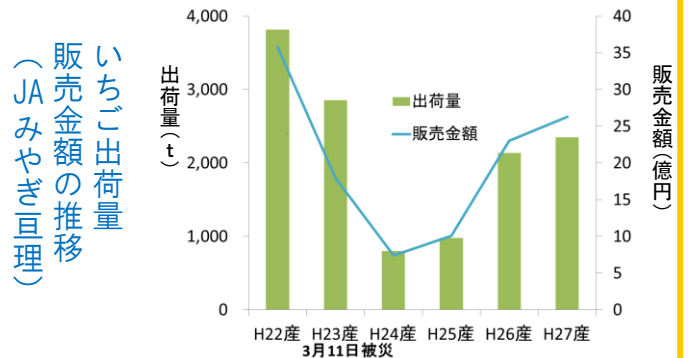
同地域は「仙台いちご」の主産地で“東北一のいちご産地”として知られていましたが、東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けました。いちご団地は、産地の復興を目指す被災したいちご栽培農家の要望を受け、亘理、山元両町が栽培用ハウス（184棟、40.6畧）を整備し、151戸が平成25年9月から営農を再開しました。

津波の影響で、土での栽培が難しいため、ハウスの中では「高設養液栽培」という床面から約1mの高さにヤシガラ等の入ったプランターを設置し、肥料を溶かした養液を与えて栽培する新たな方法が採用されています。温度管理が自動化され、さらに光合成を促す二酸化炭素発生装置なども導入されており、一層の生産性向上が図られています。



現在は、ハウスの単位面積当たりの収穫量が震災前を上回るようになりました。震災前は3.5ト/10畧であったのに対し、平成26年産3.9ト/10畧、平成27年産4.2ト/10畧と徐々に向上しています（JAみやぎ亘理統計

データ）。JAみやぎ亘理全体の作付面積は、平成27年産で59.1畧と震災前の61%ですが、出荷量、販売金額は2,348ト、2,630百万円とそれぞれ65%、79%まで回復しています。【参考：1畧=100m×100m、1畧=10m×10m】



### 産地復興 おいしいいちごをお届けます！

「仙台いちご」の主品種は、「もういっこ」と「とちおとめ」で、「もういっこ」は宮城県オリジナルブランドです。大粒でさわやかな甘さが特徴です。

平成28年産いちごは、10月末からすでに出荷を開始しており、クリスマスや年末年始の最需要期を経て、来年6月まで主に北海道や宮城県内をはじめ、東北各地、京浜地区などに向けて出荷されます。“東北一のいちご産地”の復興に向けて、甘くて美味しく、安全・安心ないちごを消費者に届けていきます。



【問い合わせ先】 宮城県亘理農業改良普及センター 農産園芸環境課 園芸振興班

電話 0223-34-1141  
電話 022-211-2843





岩手県との県境に位置する登米市。東日本大震災では、家屋の倒壊など大きな被害を受けましたが、津波被害の大きかった隣接の南三陸町から、多くの避難者を受け入れてきました（ピーク時6,000人が避難所生活。）。

今月号では、避難者とのつながりを深めながら、生活再建やコミュニティの活性化をサポートする様々な事業を行っている「特定非営利活動法人とめタウンネット」理事長の及川幾雄さんにお話を伺いました。

●活動を始めたきっかけを教えてください。

震災前から所属する大網商工振興会を通じ、地域の人々が集まり、楽しめる機会をつくってきました。震災後は、避難者の支援活動を中心に行うようになりました。

家業がガソリンスタンドということもあり、発電機と燃料を積んで各避難所を回りました。やがて、必要な物資の聞き取りも行い、東京の団体などからの支援により、避難者のもとに届けました。

避難所の人々は、市内の仮設住宅に入居し、避難生活が長期化してきました。そこで、新たな住民との交流や新しいまちづくりを考えるコミュニティが必要だと思い、その拠点として「とめタウンネット」を設立したのです。



●地域の子供たちと南三陸町から避難してきた子供たちが、風船に希望や未来を描いて飛ばしたイベント

●どのような取り組みを行っているか教えてください。

主な事業は、子育て世代の女性を支援するコミュニティカフェ事業があります。カフェや子供の一時預かりなどを通して、避難者と地域の方々が活発に交流しています。また、最近では「アルテラスおおあみ」という新たなコミュニティ拠点がオープンし、様々な取り組みを行っていますが、当団体も一部事業の運営に協力しています。

仮設住宅で暮らす方々には、「生きがい」と「仲間」が必要です。みんなと協力し、体を動かして働くことが一番良いと考え、得意分野を聞き、何かやってみようと思いを背中を押すのが我々の役割です。



●「アルテラスおおあみ」のオープン記念に併せて、地域の方々と一緒に開催したマルシェ

●課題は何ですか。

「運営資金」です。現在は、県などからの補助金で活動していますが、スタッフの人件費等の捻出が大変です。ボランティアスタッフの協力で非常に助かっています。

また、「時間」が全然足りません。スタッフや家族には、迷惑をかけていると思います。

●今後の抱負をお聞かせください。

同じ地域で一緒に暮らすことになったのだから、仲良くしていきたいです。課題もありますが、多くの「仲間」がいます。そのつながりを大切に、みんなで力を合わせながら、魅力ある地域をつくっていききたいと思っています。

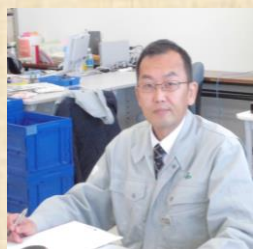
問 特定非営利活動法人 とめタウンネット

☎ 0220-44-4210

URL <http://www.tometown.net/>

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.38



氏名 上村 勝美(カミムラ カツミ)  
派遣元 北海道  
所属 気仙沼県税事務所

北海道は3つの海や雄大な大地に囲まれ、海や山の幸、乳製品等の美味しいものが宮城同様いっぱいあります。平成28年3月26日開業予定の北海道新幹

線で賑わいをみせる函館等は観光におすすめです。4月から不動産取得税等に係る家屋評価業務を担当しています。宮城県に来て食べ物、人、自然、歴史等にふれあい日々感動しています。1日も早い復興を願い、微力ですが頑張りたいと思います。



氏名 石川 達三(イシカワ タツリウ)  
派遣元 沖縄県  
所属 気仙沼県税事務所

沖縄県は、太平洋に囲まれ1年を通して温暖な気候で非常に住みやすい県です。県民性も、「ゆいまーる精神」という方言があるように、一人一人が助け合

い、互いに支え合っていこうという、「助け合いの精神」が強い県です。この精神を沖縄だけでなく、東北にも広げ、一日でも早い復興を成し遂げられるよう頑張っていきたいです。最後に、「チバリヨー」という沖縄方言を送ります。



氏名 高田 祐孝(タカダ ヒロタカ)  
派遣元 三重県  
所属 気仙沼土木事務所

昨年の4月に、伊勢神宮、鈴鹿サーキット、四日市コンビナート、松阪牛のある三重県から来ました。（「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」が三重のキャ

チフレーズです。）土日は毎週のように東北中を駆け巡っていますが、東北は、春は桜、夏は祭と山、秋は紅葉、冬は樹氷と見所も多く、すっかり東北の虜になってしまいました。残り4ヶ月、一日一日東北をかみしめながら過ごしたいと思います。



氏名 白根 伸也(シラネ ノブヤ)  
派遣元 鳥取県  
所属 気仙沼土木事務所

本年4月より「スタバはないけどスナバはあるよ」で話題になった鳥取県からの派遣となりました。南三陸町における災害復旧事業の用地買収業務が主です。

「復興加速実感年」を掲げたスローガンのもとに目標達成へ向け日々奮闘の毎日です。東北の良さである食べ物、観光地、人の温かさに触れながら、「気仙沼・南三陸町」が大好きになれるよう仕事に遊びに励みたいと思います。



「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1800記事・160万アクセスを超えました。



ココロプレス 検索

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



2015年10月24日 土曜日掲載

真の地域づくり  
～女川町と山元町の交流会(女川町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/10/blog-post\_82.html

新しいコミュニティを作るために情報交換をと、災害公営住宅の住民同士の交流会が開かれました。「津波を経験した者同士だから、やっぱり思っていることは一緒だなー」新たな励み、新たな絆が生まれ、今後も親交は深まりそうです。



2015年10月27日 火曜日掲載

必要とされなくなるまで応援! (仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/10/1.html

「何年先になるか分かりませんが、おまえもう来んな!」って言われるまで応援を続けたい」と「東北互援紡ぎ」の代表、富田純一さん。南三陸町歌津の今を町外に伝えようと、「被災地の今～南三陸町歌津」と題した講演会を仙台で開催しました。



2015年11月10日 火曜日掲載

震災から5年!復興はこれから!私たちは応援し続けます (気仙沼市、名取市、大阪府、滋賀県、静岡県)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/11/5.html

大阪、滋賀、静岡、仙台の各弁護士会所属の有志による講演会と法律相談会が気仙沼市で開催されました。代表の大川哲司弁護士は、「今回限りで終了と考えていたが、現実を見れば、そうもいかない」と話し、活動の継続に意欲をみせました。



2015年11月12日 木曜日掲載

「今」の風景～石巻市～ (石巻市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/11/blog-post.html

震災から4年8カ月。石巻市の中心地区では市立病院や北上川河口に新たに掛かる「新内海橋(仮称)」の工事などが着々と進んでいます。仮設商店街が1カ所を残して閉鎖された一方、リノベーションによる商業施設も生まれ、街は日々、変化しています。



2015年11月16日 月曜日掲載

走り続ける山元町行き夜行バス

(山元町、大阪府、東京都)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/11/blog-post\_98.html

2011年8月に第一便を運行して以来、のべ約15,000人を送り続けてきた「アミー号で行く!東北災害支援ボランティアバス」。「ボランティアと身構えず、気楽に来てほしいと思っています。そして学んでもらいたい」と代表の走り広敏さんは語ります。



2015年11月20日 金曜日掲載

鉄道の復興～JR東日本の震災体験・防災対策・常磐線復旧工事

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/11/restoration-of-railroad.html

東北福祉大学で「鉄道の復興」をテーマにした企画展が開催されました。JR東日本の社員による講演会には鉄道ファンや大学生など約60名が参加し、「震災当時の体験」「自然災害への防災・安全対策」「現在復旧工事中の常磐線」の話に聞き入っていました。





「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催します

宮城県の沿岸市町は、全国の皆さまのご支援をいただき、総力を挙げて復興まちづくりに取り組んでおります。復興まちづくりの状況を広く知って頂くために、県内外でのパネル展を開催しますので、是非お越し下さい。

開催地	①期間、②場所
東京都	①平成27年12月23日(水)～12月27日(日) ②東京都庁第一本庁舎南展望室 (東京都新宿区西新宿2丁目)
東京都	①平成28年1月18日(月)～1月28日(木) ②日本橋地下歩道(東京都中央区日本橋室町1丁目：日本橋三越本店新館前地下)
宮城県	①平成28年2月1日(月)～2月12日(金) ②青葉通地下道ギャラリー(仙台市青葉区中央2丁目：青葉通りと東二番丁通の交差点地下)
福岡県	①平成28年2月20日(土)～2月26日(金) ②福岡市役所1階ロビー (福岡市中央区天神1丁目：福岡市役所)
大阪府	①平成28年3月1日(火)～3月11日(金) ②大阪駅前曾根崎地下歩道PRコーナー (大阪市北区：大阪駅前第3ビル前地下)

問 県復興まちづくり推進室 ☎022-211-3207  
URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukumachi/panel-fukko.html>

21世紀文明シンポジウム  
「減災～東日本大震災から5年」を開催します

平成27年の阪神・淡路大震災20年に続き、平成28年は東日本大震災から5年の節目の年となります。被災地における事前防災の状況や今後の取り組みを紹介するとともに、集中復興期間の5年間を終える震災復興の現状や課題を徹底検証します。そこから、あるべき減災社会を考え、大災害への備えを具体的に発信します。

日時	平成28年1月22日(金) 13:00～17:00
場所	東北大学川内萩ホール (宮城県仙台市青葉区川内40)
内容	第1部 防災減災「震災5年目の誓い／犠牲を繰り返さないために」 第2部 復興検証「東日本大震災に学ぶ巨大災害への備え」
募集人数	400名(先着順、参加費無料)
申込方法	Eメール、FAX、郵送のいずれかの方法で、1月14日(木)までとなります。詳しくは下記あて問い合わせ願います。

問 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構  
学術交流センター  
TEL: 078-262-5714  
FAX: 078-262-5122  
E-mail: [gakujutsu@dri.ne.jp](mailto:gakujutsu@dri.ne.jp)

➤ 復興 イベント情報

ONE-LINE2015～気仙沼クリスマスイルミネーションプロジェクト～(気仙沼市)

「震災で失われた明かりを灯そう」と、今年で4回目の開催となります。気仙沼内湾およそ1kmにわたるイルミネーションが海を彩ります。

日 平成27年12月5日(土)～平成28年1月15日(金)  
(点灯時間) 18:00～22:00

所 気仙沼市港町エリア

問 ONE-LINE実行委員会

☎070-6486-3108

スターダスト・ページェント海ほたる2015(女川町)

東日本大震災から5度目の冬、「海ほたる」が女川駅前に還ります。今年のテーマは「再輝(さいき)」。

日 平成27年12月6日(日)～平成28年1月3日(日)  
(点灯時間) 16:30～22:00

所 女川駅前広場

問 スターダストページェント海ほたる2015実行委員会(女川町役場仮設庁舎内)

☎0225-54-3131

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

凡例 日 日時、期間 所 場所、会場 問 問い合わせ

ゆりあげ港朝市「年末大売り出し」(名取市)

早朝から採れたての野菜や新鮮な海の幸が並ぶ名取市ゆりあげ港朝市。生鮮食品を中心に約50店舗が並びます。また、炭火焼き体験等のイベントも行います。

日 平成27年12月29日(火)～31日(木)  
(営業時間) 6:00～13:00

所 名取市閑上5丁目23-20

問 ゆりあげ港朝市協同組合(メイプル館)

☎022-395-7211

いしのまき復興体感!「まちなか周遊号」運行中!(石巻市)

JR石巻駅から市内の観光地を周遊する乗合ジャンボタクシー「まちなか周遊号」を土日祝日限定で、1日4便を定時運行しています。(予約不要)

JRに乗って石巻にお越しいただき、是非「まちなか周遊号」を利用して石巻の「今」をご体感ください!

日 平成28年3月21日(月)までの土日祝日

※平成28年1月1日～3日は連休

※運賃:1乗車あたり500円(未就学児無料)

問 県東部地方振興事務所地方振興部

☎0225-95-1767

URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-e/machinaka.html>

みやぎ復興プレス 第43号

【発行日】平成27年12月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話:022-211-2443 e-mail: [fukusuif1@pref.miyagi.jp](mailto:fukusuif1@pref.miyagi.jp)

宮城県ホームページ「震災復興推進課」

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusuif/>

「震災・復興」

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

